

新しい道を切り拓いた いわての女性たち ⑨

母子生活支援施設（母子寮）の礎を築いた 煙山八重子（やへ）

1881年（明14）自由民権運動家の父伊東圭介と母コトの次女として盛岡にて誕生。1896年盛岡女学校（現白百合学園高校）在学中に歴史学者煙山専太郎と結婚。八重子16才であった。翌年女学校を卒業後、恩師である羽仁もと子（*）の母校、明治女学校（1909閉校）へ進学。家父長制度の下で、煙山家の嫁の立場でありながら進学できたことは、夫専太郎とその家族の女子教育への理解が深かったことが伺える。卒業後、盛岡に戻り姑トセの介護をしながら盛岡盲学校にて教壇に立つ。その間夫とは別居生活となる。

1923年（大12）夫専太郎渡欧中、関東大震災が発生。八重子は、住居や家族を失った多くの母子たちの状況を見かね、友人新渡戸琴子（新渡戸稲造養女）、塚原ハマと相談し、築鴨に20畳程のバラックを建て、路頭に迷う母子たちを支援した。その後、琴子とハマは渡欧したため、母子ホームは八重子ひとりの肩にかかっていた。それから2年後、1925年滝野川に58坪の土地を借り、羽仁もと子や長岡栄（本シリーズ⑥）など周囲の協力を得て八重子は母子保護施設をスタートさせた。日本における母子寮（現在の母子生活支援施設）の萌芽である。八重子44才であった。

1935年（昭10）滝野川を支部とし、豊島区長崎に本部を建てたが、1944年第二次大戦の最中、滝野川支部は空襲のため閉鎖された。戦争によって再び家族や家を失う母子が増え、戦後の混乱期、母子保護は社会的に大きな問題となっていた。この戦争で煙山家も焼失していたが、我がことよりも八重子は、「愛の家」の園長兼寮長として園の運営に全力を注いだ。そして1948年八重子は、財団法人「愛の家」を設立。「愛の家」は、1951年社会福祉法が制定されたその翌年、財団法人から社会福祉法人となる。八重子のこれまでの活動は、母子支援を国策へつなぐ礎となった。

1955年8月17日八重子74才、広島の子息宅にて永眠。



（現在「愛の家」は豊島区長崎にあり1階が保育施設、2階が母子生活支援施設として継続運営されている。）

【参考図書】

- ・「岩手の婦人」 岩手県（発行）1981
- ・「いわて人物ごよみ 365人」 浦田敏三、藤井茂（著）1988
- ・「生きて輝いて—変動期を生き抜いた女たちの記録—」 熊谷佳枝（著）1998

*羽仁もと子：自由学園創立者

● 女性相談（本館）

相談受付電話 **019-604-3304**

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~ 20:00		
木	10:00 ~ 20:00		
金	10:00 ~ 17:00		

（第2火曜日、年末年始、祝日は休み）



もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニングいわて

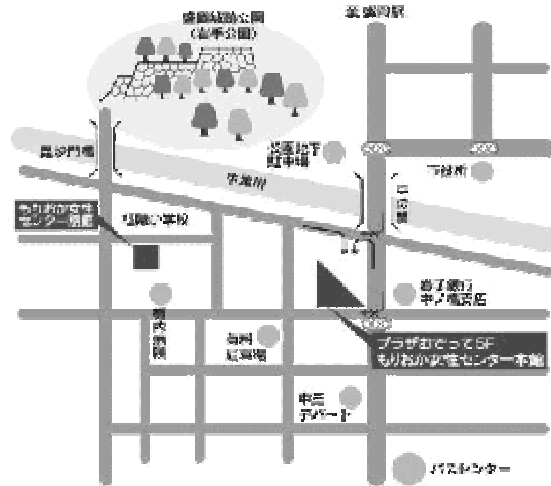
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10プラザおでって5階
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30（土日祝17:00まで）
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町2-8
電話番号 (019) 624-3583 (FAX兼)
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



（バス）
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あとがき

◆フェスティバルには、たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。オープニングセレモニーで披露された男女共同参画の替え歌「ブルー気分」「定年三年目」「共働きバージョン」は笑いながらも“うんうん”納得する歌詞でした。男性の参加が少なく残念でしたが、聞いてみると気がつくことがいっぱいあるはずですよ！（N）

◆もうすぐ冬。もうすぐ雪の季節。とても楽しみにしつつ、でも過ぎ去っていく季節からも別れがたく。この週末訪れた岩手山では、冬空のもとに紅葉が広がりなんと贅沢な時間を過ごすことができました。「頂上」にはあまり惹かれられないけれど、ついつい歩みは進んでいきます。そこからどんな風景が見られるのか、それが知りたくって。すべての歩み・時間を大切にしたいと、しみじみ思います。（M）

ひとひと
—女と男、ともに参画する社会をめざして—

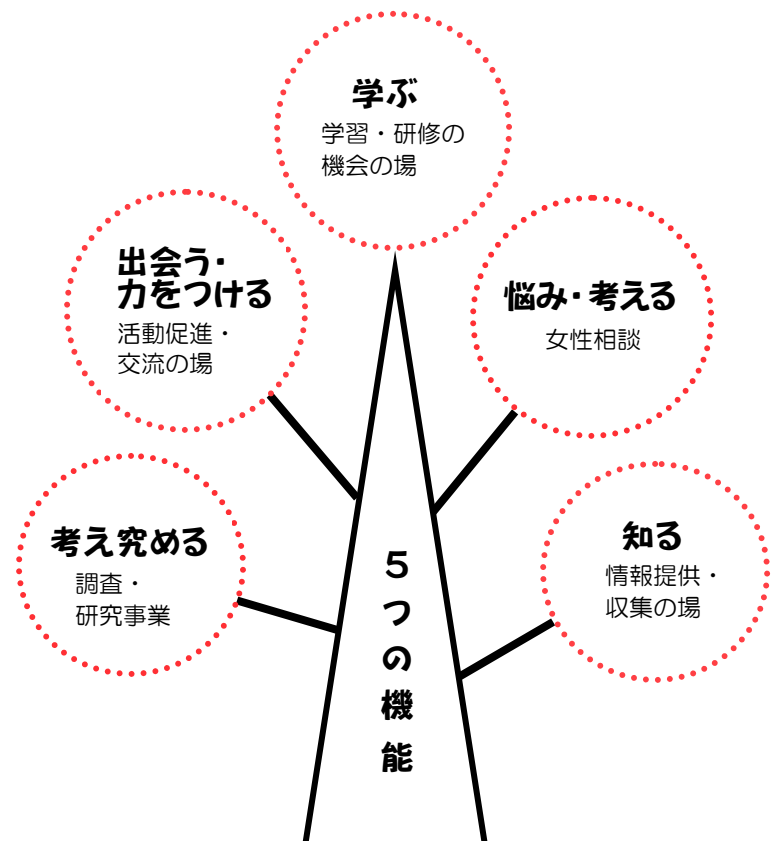
もりおか女性センター

ニュースレター

2010年
11月
No. 27

内容

- ◎ 事業「なくそう！女性に対する暴力2010」案内
- ◎ 起業応援ルームより事業のお知らせ
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわての女性たち⑨「煙山八重子」
- ◎ 講座案内 など



平成22年度事業テーマ
『女性センターで発見する わたしのチカラ みんなのパワー』

発行：もりおか女性センター

● 事業の案内

2010「なくそう！女性に対する暴力」 ～運動週間～ パープルリボンプロジェクト・つなごう！手と手と手！ 11/12(金)～18(木)

女性に対する暴力には、DV（ドメスティック・バイオレンス）や性犯罪・売買春・人身取引・セクハラ・ストーカー等、様々なものがあります。これは、女性の人権を著しく侵害するものであり、女性に対する暴力の根絶は、男女共同参画社会を形成していく上で克服して行かなければなりません。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

● 街頭啓発キャンペーン ●

- 11/13(土) 11:00～12:30
イオンモール盛岡
- 11/13(土) 14:00～15:30
イオン盛岡南
ショッピングセンター
- 11/14(日) 11:00～13:00
おでって広場
- 11/15(月)・16(火)
11:00～13:00
ホットライン肴町

● その他の事業 ●

【もりおか女性センター
本館会場にて】

- ★デートDVパネルの展示
- ★パープルリボンプロジェクト
賛同の方、ツリーにリボンをつけて下さい。
- ★ビデオ上映
DV、ストーカー、人身売買などの啓発ビデオを上映します。
- ★関連図書コーナーあり

★期間中、東北電力の
鉄塔がパープルに
ライトアップ
協力・東北電力岩手支店



● 講座の案内

◆クリスマス企画 [全3回連続講座] パパたちのマジメ・おもしろ子育て塾～贈り物は何ですか？～

一内閣府「地域における男女共同参画促進を支援するアドバイザー派遣事業」

- 日時・内容：①<公開講座> 11/23(火・祝) 13:00～15:30
講演・対談「さまざまな家族のかたち」
②11/27(土) 10:00～12:00
作品作り・語り合い パパ協作「我が家のオリジナルオーナメント」
③12/5(日) 10:00～13:00
調理実習・交流会「うまいっ！パパの手づくりピザ」

会場：プラザおでって 3F 大会議室 他

対象・定員：①公開講座のみ参加：テーマに関心のある男女・60人

- ①～③全3回の参加：小学生以下のお子さんのパパ、又はこれからパパになる男性・20人

受講料：無料（連続講座参加の方は材料費実費 1,500円）

託児：6カ月～未就学児、一人1回 500円（要事前受付）

申込方法：11/2(火)10:00から電話で先着順に受付。

● 起業応援ルームからのお知らせ

● 起業応援フォーラム 2010

～つながる、ひろがる、女性の起業～

「起業応援フォーラム」も今年度で3回目を迎えます。あなたも女性センターで、起業家のパワーを発見・体感してみませんか？皆さまのご来場をお待ちしています！

日時：11/27(土) 13:00～16:30

会場：女性センター別館

事例発表：

* 新井純子さん（埼玉県、ヘルシーカフェ のら）

演題「幸せをつなぐコミュニティカフェ」

* 松本直子さん（松本りんご園）

演題「りんご畑の中のカフェから発信する岩手」

その他、パネルディスカッション、起業家ブース販売有り。

対象・定員：テーマに関心のある方（男女）・50人

託児：1歳以上から未就学児（定員5人・有料）

申込方法：11/5(金)12:00より、電話(624-3583)で先着順に受付。



起業応援キャラ
芽でるちゃん

● 女性起業芽でる塾 ブラッシュアップ編

日時：12/11(土)、12(日) 10:00～15:00(予定)

会場：女性センター本館 生活アトリエ

対象：食や農業分野で起業を目指す女性・12人

内容：事業計画作りを学習します。「誰に何をどうやって届けるのか？」自分のビジネスの強みは何かを考えます。

講師：山崎久民さん（㈱WAN 研究所、税理士）

古屋由美子さん（㈱WAN 研究所、中小企業診断士）

申込方法：Eメール、往復はがきで受付。12/1 必着締切。

mederunet@sankaku-npo.jp

※職業と、起業したい内容を明記。詳細はお問い合わせください。

● 「起業応援ルーム」(別館)ご利用ください！

少人数制のミニセミナーも定期的開催中です！

* 「かんたんホームページ作り体験セミナー」(毎月開催)

* 「夢をかたちにするブログ入門講座」(12月開催)

芽でるネット

検索

● 「予告」ラジオ mjc」が始まります！

もりおか女性センターのホームページ上で、「インターネットラジオ」の放送を開始することになりました！

もりおか女性センターの取り組みを、私たちスタッフの「声」でインターネット上から世界へ発信することになりました！

11月から不定期で(マイペースで)更新予定。

どうぞご期待ください！

● 事業の報告

フェスティバル 2010 が終了しました！

今年の「もりおか女性センターフェスティバル」は、10月8～10日に本館、別館と二会場に分かれ三日間開催されました。当センターを拠点に活動している団体の発表や映画会、講演会と多彩な催しが行なわれ多くの方にご参加いただきました。

8日におこなわれたオープニングセレモニーでは、盛岡市男女共同参画情報紙「あの・なはん」編集員の皆さんが男女共同参画の替え歌を披露し、参加者の皆さんは歌詞の内容にうなずいたり、笑ったり…そして一緒に歌い楽しいスタートとなりました。

挨拶の
後、
細田
副館
長



男女
共同
参画
の
替え
歌を
歌う
編集
員の
皆さん

9日には映画「THE ダイエット！」の上映と関口監督のトークがおこなわれました。監督自らが被写体となりダイエットに挑んだ映画の上映後、監督のトークを興味深く聞きました。映画はコメディタッチで描かれていますが、ダイエットを通して、過食に走る原因が、両親との関係や離婚問題、海外で生きていくことなど自分が抱えてきたさまざまな問題と関係があることに気づいたと話されました。



関口祐加監督

10日は講演会&シンポジウムがおこなわれ、「なぜ、女はいつもワーキングプアなのか？～報道から見てきたこと」と題してNHK放送センター番組ディレクターの板垣淑子さんが講演されました。

板垣さんは、ご自身が取材、制作した番組の中の母子家庭に焦点を当ててDVDを上映し、子どもを抱えてパートを掛け持ちしながら厳しい生活を余儀なくされている女性の話などを紹介。自助努力では解決できない社会制度の問題などがあることを訴えられました。



シン
ポジ
スト
の
皆さん

その後のシンポジウムではシンポジストに板垣淑子さん、小野寺けい子さん（盛岡医療生協理事長）、竹村祥子さん（岩手大学人文社会科学部教授）を迎え、植田真弘さん（岩手県立大学宮古短期大学部学部長）がコーディネーターを務め「女性と貧困～岩手のこれからを考える～」について意見交換されました。参加者は女性と貧困の現状や背景について理解を深め考える機会となりました。

多くの皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。

